



広報はばたき

第43号

新発田青少年健全育成市民会議

市民大会

－わたしの主張 新発田市大会－

7月22日(土) 新発田市生涯学習センター 講堂

来賓をはじめ、関係団体・多くの市民の方々参加のもと開催されました。

功労者表彰

～おめでとうございます～

市民会議の発展のために特に功績のあった会員を表彰するもので、今年度は2名の方が受賞されました。

○受賞者

・北澤 康正 様 元新発田市少年補導委員

平成11年から平成29年3月まで新発田市少年補導委員として青少年の健全育成のために積極的に活動し、青少年の非行防止に大きく貢献されました。

・山田 剛 様 ボーイスカウト新発田第一団

平成17年からボーイスカウト新発田第一団ボーイ隊の副長として団員の指導・育成に積極的に取り組み、団の発展に大きく貢献されています。



新発田市子ども会連合会 活動内容紹介

新発田市子ども会連合会広報部のお二人より市子連の目的・運営組織及び構成について詳しく説明していただきました。

また、新発田ジュニアクラブの活動や友好都市石川県加賀市との交流など、子ども中心の活動が活発に行われていることが報告されました。



記念アトラクション

よさこいドラゴン

小学生から大人まで幅広い年齢層で結成され、今年で結成15周年を迎えるよさこいドラゴンの皆さん。体を大きくつかったダイナミックな動きと、明るく元気な笑顔がとても印象的でした。

新発田愛たっぷりの迫力ある演舞で会場中が盛り上がりました。



コミュニケーション

七葉中 二年 藤間 麗那

私は幼い時から話すことが苦手
で、小学生の頃には学校で一言も話
さない日もありました。そんな私に
友達は、無理にコミュニケーション
を取らせるようなことはしないで、
時々話し掛けて会話をするチャン
スをくれました。「話せない自分」を
じっくり変えていきたいです。コ
ミュニケーションを、友達を大切に
し、悔いの残らない学校生活を送り
たいと考えています。

皆同じ人間

紫雲寺中 三年 本間 華楓

障がい者だって普通の人間です。
ですが、兄は「障がい者だから。」
という理由でいじめられ続けまし
た。

障がい者差別をなくし、人と人が
支えあえばいじめはなくなり苦しむ
人が減ると思います。そのような社
会を実現するために相手を尊重し、
差別がない接し方を心がけていき
たいです。そして差別がない社会が
実現されることを願っています。

— わたしの主張 — 新発田市大会

市内 10 中学校の代表生徒の皆さんの発表要旨を掲載いたします。



各校代表生徒と審査員の皆様

「心の眼」で

豊浦中 三年 野俣 夕渚

私には、友達から聞いたことが真
実ではなかったという経験がありま
す。また、自分勝手な人だと言われ
ていた人と直接話したら、その人は
明るく面白い人だったということも
ありました。噂や情報は全て真実と
は限りません。「心の眼」で真実か
どうか判断することが大切です。人
を「心の眼」で見て信頼し合える社
会にしていきたいです。あなたは情
報を全て信じますか？

形なき教え

本丸中 三年 碓氷 武旺

歴史は面倒な暗記教科なのだろう
か。私はそうは思わない。
歴史を学ぶことは発想力を養う有
効な方法である。そして歴史を知る
ことは日本人としての自分に誇りを
もつことに繋がる。

新発田城本丸の跡地に初代校舎が
建てられたことが校名の由来である
本丸中学校。歴史深きその校舎に通
う者として、歴史を学ぶその意義を、
仲間伝えていきたいと強く感じて
いる。

一人一人の意識

第一中 三年 武田 尚樹

社会生活のマナーというのは、だれでもできるような「当たり前」の事を指すと僕は思います。

しかし、最近では「自分一人くらい」と思い、マナーを守れていない人が多くなっています。

僕は、そうならないことはもちろん、人の役に立ち、社会に貢献できるようにするために、自分から意識して生活します。

部活動から学んだ大切なこと

川東中 三年 石井 薫

「野球を楽しみなさい」この言葉で僕の部活動への取り組みが変わった。できるまで、分かるまで諦めない。部活動を通して学んだ大切なこと。「できないから教えてほしい」と聞く勇氣を持つことが何よりも大切なのだ。できるようになると生活が変わり、何事も楽しめるようになる。そのことで周りも変わる。これからは諦めずにいろんな事に挑戦したい。

「勇氣のスイッチ」

佐々木中 二年 岩瀬 友美

人に嫌なことをされて「やめて」と言えない人、好きな人がいるのに気持ちや伝えられない人。その人は相手が自分の気持ちに対してどう思うか、どのような反応をするのかと、考えてしまうのでしょうか。

しかし、少しの、ほんの少しの、0.1%にも満たない勇氣を持ったとしたら、その勇氣が悩める私たちの背中を押してくれるのではないのでしょうか

偏見を世界からなくすため

東中 三年 櫻井 梨乃

私たちの身近にかくれているさまざまな「偏見」を、私はこの世界からなくしていきたい。そのために大切なことが二つある。一つは一人一人が違う人間であることを当たり前で思い、自分が今輝いていられるのは周りの存在があってこそなのだということ。二つ目は人の良い所をたくさん見つけること。私はこれらのことを意識して、互いが認め合う偏見のない世界にしていきたい。

僕の好きな場所

加治川中 二年 大岡 秀喜

私の好きな場所は自分のクラス、そして所属する野球部が活動をしているグラウンドです。とても居心地が良い場所で登校することが毎日楽しみです。

先生のひと言から居心地の良さを守るために大切なことは「笑顔を伝染させる」ことだと気づいた私は、みんなが笑顔になれる学校をみんなで作っていきます。

「知る」ことの大切さ

猿橋中 三年 星 遥

世の中には満足に食事できない人が沢山いる。これは発展途上国の話だけではなく、日本においても問題となっているが、私は最近までこの事実を知らなかった。きつと多くの人が私と同じように知らずに過ごしているに違いない。私達の世界をよりよくするためには、一人ひとりが世の中で何が起きているかを知り、問題の解決方法を考えていくべきだと思う。

わたしの主張 「新発田市大会」 講評

審査委員長 加治川中学校長 土屋和也
今年度の発表内容も自分自身の課題から日本社会の課題までと、普段考えていることをよくまとめて発表してくれました。自己の内面を見つめたものや自分弱さの克服、将来へ向けての思いや課題を述べた内容が多く、それらがよく分析されていったと思います。

人間は弱い存在であり、「こう在りたい」「こうあるべきだ」と思っている強い者や多数の意見に流されてしまいがちです。発表者が考えている社会や学校の実現に向けて地道に日々実践を重ねてもらいたいと思いました。

日本では「沈黙は金、雄弁は銀」「心伝心」などと口数が多いことはあまり評価されない文化が長い間続いてきました。しかし、グローバル化の時代を迎え、相手にしっかりと自分の考えや意思を伝える力が最近では重要視されています。相手に気持ちを伝えるには、内容とともに身振り・手振りや顔の表情を豊にして表現を工夫する必要があります。そのような発表者が年々増えてきているように感じます。来年度はさらに、内容と共に話をより印象づける表現法工夫し、練習を重ねて臨むとより充実した発表会になると思います。

新発田市大会結果

10名の発表者のうち5名が8月17日(木)胎内市産業文化会館で行われました三市北蒲原大会に出場し、奨励賞を受賞しました。

青少年健全育成「市民一斉パトロール」のお知らせ

明日を担う青少年の健全育成のために、大勢のみなさまのご協力をお願いします！



- ・と き 11月3日(金・祝) 午前10時～正午
- ・出 発 式 午前10時～
ヨリネスしばた(新発田市役所)
札の辻広場
- ・パトロール等 午前10時30分～正午
(カルチャーセンター、ショッピング
センター等で活動)

※詳しくは、新発田青少年健全育成市民会議事務局またはお住まいの地区育成協議会へ



◎青少年健全育成功労者・功労団体新潟県知事表彰



個人：大川原 さとみ 様 (加治川地域子育てクラブ)



団体：豊浦地区青少年健全育成協議会

◎記念講演『変わりつつある少年非行』 ～いま、大人に求められること～



講師：石橋 昭良 様 (文教大学人間科学部 教授)

◎青少年健全育成事例発表



しばたパフォーミングキッズのみなさま

青少年健全育成県民大会

7月29日(土) 新発田市民文化会館

この大会は、県民総ぐるみで青少年健全育成に対する理解を深め、健全育成活動を充実・促進させることを目的に毎年開催されています。当市では13年ぶりの開催となりました。

あとがき

今日、個人や世帯を取り巻く環境が大きく変化し、地域においては、人と人とのつながりが希薄化するなか、子どもの貧困・虐待・ひきこもり等々、課題が多様化しています。さらに本年も自然災害が多く発生しており地域における住民同士の支え合いの仕組み作りが重要性を増しております。当新発田青少年健全育成市民会議においても、スローガン「笑顔の“わ”みんなを」をモットーに関係団体や地域と協力し、活動してまいりたいと思います。

子どもたちも二学期を迎え一段と行動・あいさつが大人びて大きな声が返るようになりうれしく思います。一学期中には悲しい事件が耳に入り残念でたまりません。親族の方々には心より御悔やみ申し上げます。以後、このような事件・事故がない世の中になるようにしていきたいと思えます。

子どもは誰もが夢を実現できる素晴らしい力を持っています。大人たちは応援ができるのです。

(編集委員 猿子 洋司)

発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号
電話 (〇二五四) 二六一〇八九七

編集委員

猿子 洋司 前田 清
小出 隆一 水野 善栄
遠山 明美